

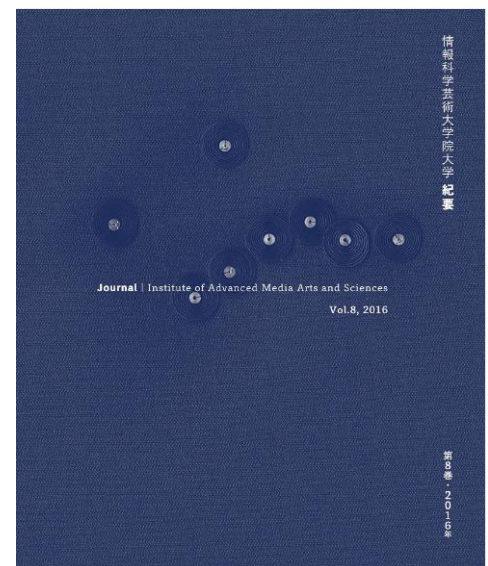
プロジェクトメンバー；三輪眞弘・伊村靖子・松井茂・小林昌廣（代表）

1 活動ならびに執筆



①アーカイブプロジェクト

本年度は、「三輪眞弘メディア・パフォーマンス作品の保存・修復・資料化プロジェクト」（平成28年度 メディア芸術アーカイブ推進支援事業）を実施した。メディア・パフォーマンス作品の多くは、その都度毎に集めた装置を活用したライブであるため、会場の条件や技術環境に依存するすることが多く、作品のアイデンティを特定した保存や再演が困難になるケースが非常に多い。本プロジェクトでは、三輪眞弘の《赤ずきんちゃん伴奏器》(1988年)を始めとする6作品のハードウェア、プログラム言語を現在のメディア環境で運用可能な状態に変換し、スコアに付随する再演をサポートするための新たな仕様書を作成し、その成果を「IAMAS 2017」にて発表した。コンサートおよびシンポジウム「メディア・パフォーマンスとは何か? IAMAS20周年から考える」（2016年11月6日、アーツ千代田3331）での議論、再演リストの一部は『情報科学芸術大学院大学紀要』第8巻・2016年に収録した。その他、映像資料のデジタル化、研究者、演奏家へのインタビューを行い、メディア・アートの資料化について検討した。

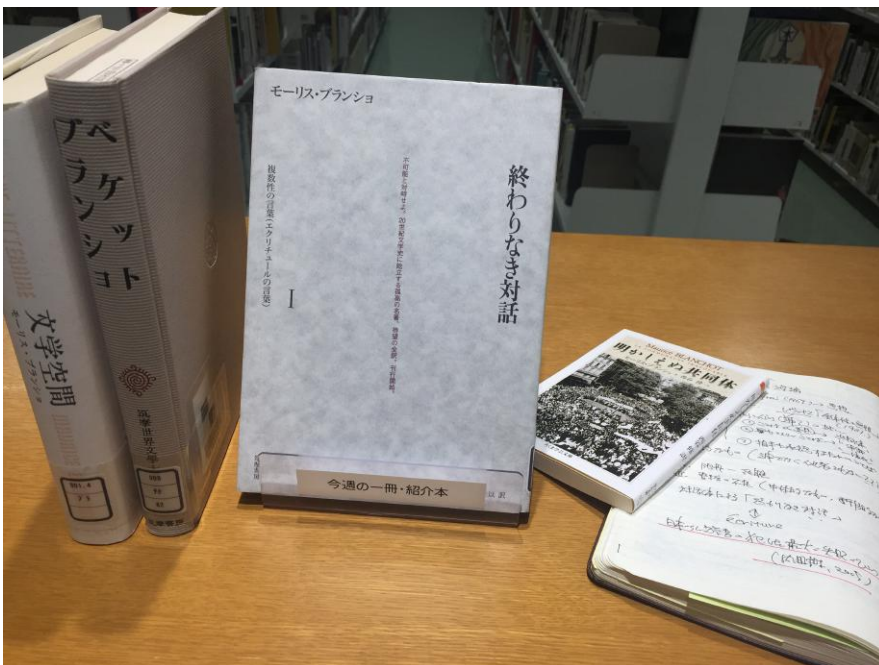


②図書館プロジェクト

本プロジェクトでは前年度に引き続き、図書館における「図書館長が選ぶ今週の一冊」ならびに岐阜県図書館での「大人のためのブックトーク」を開催した。

「図書館長が選ぶ今週の一冊」は、年度末現在123冊を紹介している。

また、その全書籍をIAMAS2017展のプロジェクト展示において配置した。



2 その他

毎週金曜日のプロジェクト実習において、各教員が持ち回りで特定のテーマについて発表、ディスカッションをおこなった。